

私たちは自然科学と社会科学の両面から、海岸環境の調査や住民意識の分析を行い、防災・環境保全・地域社会の発展の未来像を検討します。人口減少や高齢化等の課題を抱える被災地で、「地域と自然がいかに共生できるか」を探ることが本研究の核心です。

私は森林の多面的機能の評価を専門とし、海岸林を軸に、防災や観光など人との関わりを研究してきました。海岸林は潮風や飛砂を防ぐためにつくられた、「自然と社会の共生」の一例です。本研究では社会科学的方法アプローチとして聞き取り調査等を担当し、地元報告会も開催することで、持続可能な海岸環境の保全と地域社会の発展に貢献できるよう、地域のために何ができるか考えながら調査を進めていきたいと思います。